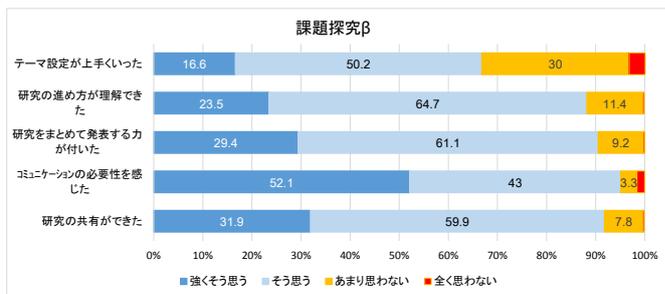
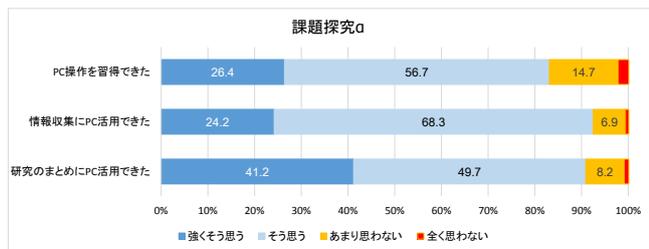


「課題探究」活動報告

1. 選択式回答評価アンケート（回答結果）

- 課題探究 α
 - ・ パソコン操作を概ね取得できた
 - ・ 課題研究に必要な情報を得ることができた
 - ・ 課題研究をまとめるのにパソコンを活用できた
- 課題探究 β
 - ・ テーマ設定が上手くできた（問題意識）
 - ・ 研究の進め方が理解できた（論理的思考力）
 - ・ 研究をまとめて発表する力が付いた（論理的表現力）
 - ・ コミュニケーションによる他人との関わりが必要であることが分かった（協働作業の必要性）
 - ・ 研究内容を他人に伝え共有することができた（発信する必要性）



2. 記述式評価アンケート（回答例）

〔設問〕「課題探究」を行って、探究することについてあなたの気持ちや考え方の変化を具体的に記しなさい。

○ 人文・社会分野

最初は SSH というタイトル自体が理系向けで、今回の課探も理系寄りなんだろうなと思っていましたが、どの分野の研究も分野にとらわれない思考力や知識を必要としていることが分かったり、思った以上に人文のテーマに興味を持ってくれる人がいることがわかり、よかったです。先にあるものを後から追いかけることがいかに易しいか、そして、いちから結論を導き、考察することがいかに大変で、それでもおもしろいことがわかった。

○ 物理・地学分野

好きなことについて調べようとしても結局は他の分野や苦手なことの知識が必要になることが分かり、選択科目でない教科の勉強も大切だと思った。パソコン操作(ポスタ作成)と自分のスピーチや発表の能力を駆使することで初めて良い発表になることがわかった。

○ 数学・情報分野

自分が今まで行ってきたのは、ただの「調べ学習」で、それ以上を考えることをしていなかったことを思い知った。数学は奥が深くて、理解した先にまた新たな課題が見えるというサイクルを垣間見ることができた。ここで知った考え方や力を大学での研究に活かしていきたい。

○ 化学分野

身の周りにある「不思議なこと」「何気ないもの」に焦点をあて、自分で疑問点を見い出して吟味、発見、観察することは、案外簡単だった。しかし、それをどうやって証明、解決、考察するかは工夫が必要で、思ったように行かないことを強く実感した。

○ 生物分野

最初の1回の実験で仮説通りの結果が得られると思っていたが、実験の進め方、条件設定で不十分なところが出てきて、それを改善し新たに実験を設定して行くことが大事だと思った。一から計画・準備して結果を出すというのは大変だったが、自由に考えられる楽しさと、発表というコミュニケーション力を学べたと思う。